

特集

がん診療ガイドライン

臨床現場における有効活用法

2001 年 3 月に「胃癌治療ガイドライン」が公表されて以来、各種のがん診療ガイドラインが策定・改訂されてきた。現在では、治療計画を立てるに当たってこれらのガイドラインを参照することが必須となっている。

しかし、ガイドラインは改訂を重ねて醸成されていくものであり、つねに限界を抱えている。また、個々の患者の治療選択にそのまま適用できるものではない。

そこで、本特集では各執筆者に、各がん診療ガイドラインの「注目すべきポイント」、「留意点・問題点」、「臨床での有効な活用法」を整理していただき、がん診療ガイドラインの臨床現場での“上手な使い方”を提案していただくことにした。